

金瘡秘傳集

番外書册

| | | | |
|-----|---|---|---|
| 和書門 | | | |
| 二 | 四 | 五 | 三 |
| 一 | 六 | 七 | 函 |
| 四 | 册 | 架 | 類 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 庫 | 文 | 閣 | 內 |
| 五 | 二 | 四 | 和 |
| 五 | 四 | 九 | 書 |
| 函 | 五 | 三 | 類 |
| 四 | 四 | 三 | |
| 架 | 册 | 號 | |

(四册)

| | |
|------|---------|
| 內閣文庫 | |
| 番號 | 和 24953 |
| 冊數 | 4 (4) |
| 函號 | 195 83 |

利



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



源氏白藥金瘡秘傳

漢方本草文庫

生死吉凶之脈之事

病人善惡之見知事

痲虛寒濕熱知事

金瘡ホクソシ療治ノ分別之事

血ハリシソウ茶之事

氣付茶ノ事

血留茶之事

口茶之事

血茶之事

内茶之事

泻茶之事

同籠リノ事



血筋渡之事

筋渡之事

膿ハリノ事

膿ワタ出治ノ事

骨次之事

痲痺之事

振ヲ留事

ソリノ茶ノ事

拔茶之事

手負スクムシ治事

眼ニ手負煩ヲ治ル 喉ヨリ血出ヲ治ル事

鼻血出ル治ル事 痲ノ跡クホキラ本ノ如ニナシス事

痲ノ口内ハホク煩事 早ク肉ヲ上ル事

痲ニ虫ノワクラ治ル事 痲ノ口カエキヲ留ル事

面ノ痲ノ事

赤レテ青ク腫治ス

痲ノウミヲスミス茶事 痲ニ口虫トシテ事

シリ痲ノツクロイノ事 骨クダキタカイタヲ洗ル茶ノ事

痲ノ血瘡出来時下 愈々痲ノ口破事

毒ノ天當名時甘茶事 錐鍬ケテ取事

醫者ノ直ノカ子名シ治フ トコツメノ茶事

洗茶之事 痲ヲ洗フ心持事

浮茶ヲ浮ル心持事 痲ノニシナイノ事

痲ノソコニ茶ヲトス事 妄ヲ見ル時ノ茶事

痲引レテ難敷脚氣 日本之シロ茶ノ事

唐ノ白茶ノ事 高麗ノ白茶ノ事

牛ノツキタル時ノ付茶事 馬ノ喰レタル時茶事
犬ニ喰レタル時ノ茶事

痲ヲツクロイ扱心持之事

膏茶之事 禁物之事

生死吉凶之脉ノ事

一 脉沉小虚細ナルハ生血ノ出コト多ニ依テ
順トス

一 脉浮大實數ナル者ハ死ス血多出ルニヨ
ツテ逆トス

一 大成痲 脉沉細ナルハ惡小痲 脉浮大
者惡シ

一 少痲 脉浮大ナル者ハ生沈細ナル者ハ
死 内ニ血ノクルウ
ユナリ

一 茶毒痲ノ煩マシキニ 脉ノ煩ハ惡シ

一 煩ヘキ痲ニ 脉之煩ハ又ハ惡シ唯脉ト想

カウト 相忘シタルカ去此分別肝要也

一 然トイハレ痲ノ愈時方ニ 脉小虚

細ナルハ餘不好脉少力有モ虚トス

始中後ノ心持可有也

病人之善惡姿ヲ見知事

- 一 面目同色ノ者ハ不死
- 一 面赤目黄成者必死
- 一 面黄目赤者ハ不死
- 一 面青目黄成者必死
- 一 面黑目青成者不死
- 一 面ハ多目白ハ速ニ死
- 一 額ニ汗ヲカキ涙有テソノ寒唇ウルニ立躰
- 一 スクミ惣身振事死ル姿也
- 一 血ヲカキテ見ニアマクサキハ生也
- 一 手負ノ目ヲフサカセテ見ヒラカセテ見ルニ眼ノ上ニフタニツキカタマリタルハ死姿也
- 一 疵ノ口内ニツホミ血タラスメカワキウス黒色ニ手足寒不言手足シシケクハタラカシ

鳥ハタ、ツハ大変也

- 一 虫クルイケナケ成風情ニテイキライケ
- 一 成氏一ツハ物ニクロイノ形也殊ニ腹大ニフクレウシロソル事大凶也
- 一 手足ホメキ汗タラス口ヲアキ時ニアクヒスルハ大変也
- 一 可煩疵ノ口カワキ主不痛血タラスレテ主ノ色能脉ノ動數内弱ハ大変也
- 一 不食モ悪又同遍ニシテ扁々ト有モ悪又
- 一 氣ノ弱成モ悪想ナリ
- 一 醫者ヲ見テア

チキナケニカホシ見上々カトスルモ死後之

一手負ノアタリ青疔ノ来モ惡想也

一俄ニ血ノ走ル莫有不吉也二度共走ハ半

一生也二度氏走ハ療治スヘカラス

一手負ニ外ノ疵内ノ疵ト云事有ツト疵トハ

背カタ腰尻モノト向ス子手ノコウ足ノコ

ウ也

一内ノ疵トハ腋ウチノ内モノ内手ノ内足ノ

ウラ也ヲナレホトノ疵ナレモ外ノ疵ハカロシ

内ノ疵ハ煩也

一一分ハノ筋トハ耳ノ下ニニツノト留ニ

一ツ脇ツホニニツ有ノト渡リニツ脉ツ

ホニニツ右左氏ニニツ脉ノナカ一ツ切タル

ハ大夏也手クヒノ一向ニ切ハナレタルハ

ツカルナリ以上八取一分入ニハ大夏也

三疵ノ虚实熱ヲ知ル事

一虚ハ食タル物ヲハキ腹ヲ下ス也是ハ補也

一寒ハ或ハ十五或ハコワル也是ハタムル也

一実ハ小便不通大便結スル也是ハ浮也

一熱ハ血苗リ難ク又ハ疵癰ト成是ハヒ

ヤスハニ

一金瘡ホクニ治療方別事也

一始ハシケツス退ケテ筋事経絡ヲ通之

一筋横筋ノ度也血ヲ和ケテ痛ヲ

留ル也

一後ニ衛氣ヲ調氣ノ道ノ度也血道ヲ養

血ノ道之事也胃ノ氣又補ナリ

血ニハリニサウテ事

一人参 香白芷 騏驎竭 黄蘗 合觀

ノ若ニトリ 女松ノ若ニトリ

耳中ノ右等方ニハカシヤ無時ハ

尾カ又生子ノカニクソヲカニシメ

陰干ニシテ便也

一又云骨ヲ打タル疵ニハ牛膝ヲ加

一筋ノ疵ニハ虎肉ヲ加フカ疵ニハ虎膽ヲ

加フ

一又云前ノ八色ニ萱草ヲ陰干ニ加用

右ノ茶寝サセ茶ニモ用

一小便通タラハ寝サセテモ不苦ソホメ

字也又小茶ニ茶一服ホトニテモ用

一二度吐逆スルハ不苦三度モ及ハ難治
乍去大酒ヲ飲食ノ刻ナトニ手負タル
人ハ二三度吐逆シテモ不苦

一蓮肉散 蓮肉 葦毛馬薤 右二色

氏ニ香色ニ炒テ細末メ茶一服ホト

湯ニテ用也

一麝香散 夏冬ノ口太為シハ丸ヲ

去テ麝香ヘツノカワヲ兩ノ羽カイノ下ニ

置テ黒燒ニメ耳カキニスクイ湯ニテ用

一生地黃散 兎ハ口ニ大ノ鹿草 生地黃

右等方ヲ黒燒ニテ茶一服ホト湯ニテ

用也

一川芎散 芎一味細末メ茶一服ホト

湯ニテ用也此茶ハ血筋一行間可死

ハ返ス也何モシラ茶ノ心持吐逆スルハ

大莫ト可心得也

氣付茶之事

一快氣散 人參一兩 蒲黃一兩 棗昆

耳中二朱 胡椒朱半 右細末メ湯ニテ

用

一 茯苓神散 明礬 芍 芍 茶 赤茯苓

白苓 右等分合細末茶一服ホト完

湯ニテ用

一 神仙散 フナワラ一色ハクキニ片ニ香

イロニイリテ細末茶一服ホト湯ニテ

可用也

一 菱冬ノ土用ノ口太鳥ノ足人參一ツニ

入兩ノ足ヲツルハコヘニテホウロクニ入テ

イキラ不出黒焼ニテ細末香カイノ

耳ニ五スイイテ湯ニテ与ナリ

一 黒神散 氣上リ目舞心遠ナリニ

用シ 鹿ノ角ヲサクタキ器ニ入ヌリ

フサキ一日一夜炭火ニテ焼取出シ

細末茶一服ホト湯ニテ用シ四物湯ニ

テモ用也

一 延命散 氣上リ目舞心遠成リ或ハ

胸指ツカヘ或ハ腹痛ニ用也香附子

一味能クフシラエ細末茶一服ホト完

湯ニテ用ユ

一 鹿頭散 鹿ノ頭三兩フルセアサニ兩

女ノカミノヲチ一兩 右各黒燒テ湯

ニテ用此茶寢サセ茶氏云也具足

ナトヌカスル時モ是一服用テ後具

足ヲ拔セテ吉鹿ノ以ノ取様ハ大ノ

正月ニ妻鹿ノ頭ヲ取ツカウ

一蒲黃散 参 芎 葛粉湯ニテ用

一至寶丹ヲモ時ニヨリテ用

血留茶之事

一騏驎湯 龍骨 妻松ノ若ニトリ

右等分ニメ細末メ拍カクル也一天花湯

韋色馬ノ骨 脉ノ血ヲヒタシ能于テノカ

タメテ粉ニメ拍掛ル也

一伏龍肝ヲ細末メ拍掛之南向

イノ火ヲタヤサスタク所ノ土ノ赤クヤケ

タルヲ粉ニメ細末メ水ニ用

一妻松ノワカミトリノ三月ノ末ニ取陰乾

メ割炒細末メ拍掛

一騏驎湯 蒲黃 韋毛馬糞等分

ニメハコヘノ汁ニテ子リテモ付ル也

一土龍ノ腹ヲアケ腹傷ヲ捨紅花ヲ入

末下入テ黒焼ニメ細末メ拍掛也又此
茶ヲ舌ノ上ニ置テモ又人參ノ葉汁ニテ
モ茶一服ホト与テモ留也留リカヌル時
ハ蒲黄柴檀白芍薬三色ノ葉汁
ニテモ用也

一白芍薬ヲ生ニテ細末メ拍掛ル也細末
メ茶一服ホトモ用也又ハ是ヲ四物湯ニ
テ用口傳云苗カ子ハ四物湯ニテ後
モ用

一蒲黄口フト鳥ノ黒焼等乃ニ合テ茶
半服無ト湯ニテ用也

一走ル血ヲ蛤貝ニ入テ其上ニ五八草
拍掛テ手負ノ居タル座敷ノ内高キ
所ニ置テモ留也手負ノ居タル上ノナケ
レトトニ五八草ヲ主ニ不知メ置テモ
留ル也又椿葉ニ血ヲ請テ余ノ所ニテ
五八中ヲ拍掛テモ留ル也

一血ノ留リカヌル時手ニテモ足ニテモア
レ知ヌ由ニテ手負ヲハタラセ手足ヲア
ナタコナタヘヒ子リムカイヲトスレハ血筋

違テ留ル事有也

一杉原ヲ能クモミテ付テモ血留ル也

口藥之事

一天花粉 葛粉 黄蘗 石灰 百日

水ニ曝テ便也 右等分ニメ細末メ

胡广ノ油ニテ子リテ付ル也此茶ニテ

療治スルハ癰ニ成フトナシ

一羚羊角 一两 袋角 二分 沉 一分 耳 一分

右細末メ鬱金ヲ惣茶ウスキ色ニ成

ホト加テ胡广ノ油ニテ子リテ付ナリキ汁ヲ

出ス茶ト云々

一耳中ヲ粉ニメ黄蘗ノ粉少加テ胡麻

ノ油ニテ子ヤシ付ル也此茶ウツキヲ留

ル也平家ノ黄茶トハ是ヲ云也

一白神散 蛤ノ再白貝ヲ炭火ニテ能ク

一燒テ分ヘノ汁ニ入洗取上テ細末メ梅酢

ニテ疵入口ヲ少シメシ拍掛シ疵ウツクニ

吉又矢疵ウキニ疵バ殊ニ妙也早愈

一生蘇散白 山桃皮 一两 山桃実 三方 黑燒メ

便 天南星 一分 芭蕉 二分 黑燒メ右細末

胡麻ノ油ニテ子リ付ん也此菜ハ深疵ニ

一鹿角ヲ白焼テ葛粉等方ニ合テ光明丹

ニテモワウタンニテモウスクニ付色ニ成

ホト加テ細末メ油ニテ子リ付ん也

一三白散 天花粉 葛粉 石灰各一两

一鹿角黒焼ニ方 蛤貝黒焼ニ方 右細末

頭疵ニハ紫菜ノ汁ニテ子リテ付んナリ

ハヨリ下ノ疵ニハ胡テノ油ニテ付ん疵ウ

ツクニハキワタ耳草ノ粉ヲ加テ疵癰ニハ紫

ノニ色シイテカイノ黒焼ヲ加ルナリ

一天南星^{ニ兩ニ方} 辰砂^{ニ方} 麝香^{ニ方} 右細末

メ紫菜ノ汁ニテ付ん 此菜疵ノ口ウ時

用也

一骨ヨリ肉ヲ上ニト思ハ、耳草ノ粉ヲ人ノ

舌乳ニテ子リテ付ん也但陰陽ニ傳有

一疵ノ口ウルニテ黒色ナラハ血氣強タル故

也其ハ辰砂ヲ粟ツホ程ニメ付茶ニ加テ

付ん也

一疵ノ口見甚無ヤウニト思ハ、黄芩ノ皮

ヲ去テ前後ニ付ん也

一 痲ノウツキヲ止ト思時ハ女ノカミノヲ黒

一 燒龍腦ヲ加テ胡ノ油ニテ子リ付ル也

一 ヘソノヲ、胡ノ油ニテヒタシテ其油ヲ付ル能

口茶ヲソノ油ニテ子リテモ付ルナリ

一 又葛粉赤小豆粉等方ニ合テハニツケル

カ子ニテ付ル也

一 龍腦ヲ粟ツフホト何ノ付茶成氏加付

一 痲ノウツク時黒神散ヲ茶一服ホト

四物湯ニ人參并中ヲ加テ其藥汁ニテ用

一 痲ノウツク時灸ヲスユル事有七壯斗

灸スニ灸スレハキ汁タリカヌル物ナリ

一 痲ヨリ赤キ汁ノ多出ル時ハ口茶ニ騏驎

湯ヲ加テ付ル也惣テ夕ワ汁ノ出ル吉方

去餘ヲ血ノ引撮ニタルハ血ノ引タルト同事

ニテ主弱リテ大度也

一 古痲ニハ何ノ口茶ニ成氏石灰ヲ加ル也

一 天南星ニ右等方ニ合テウヌ糊ニテ

瓜サ子ナリニ丸テ愈シニテモナク惡シ

シ上リ痲ノ愈カヌル時サスヘキ也又痲

ノフサカリテ汁ノ出サル時モサスヘキ也

一 菱ノ疵ニハ口茶白粉ヲ可加疵クサラヌ
 物也又青木葉ヲ重テ塩ヲヌルヘキナリ
 一 疵愈テ後口フクシ上リテ見ニクキハ少
 針ヲ立テ血ヲ出シテシワヲ拍掛ヘシ
 又紙ヲヌラシテ疵ノ口ニアタカニ銅ニテ
 ヤクヘキ也
 一 疵ノ口コワル事有其時ハ先疵ノ口ニ胡
 子ノ油ヲヌリテ青竹筒ヲ疵ノ口ニアタ
 メ松ノ煙ニテフスヘテ其後青木葉ヲ付
 テ少々復ホト炙スル也又山柰ニメ何ノ口
 茶ニ成ニ加テ付ル也

血茶之事

一 三葉ウツ木ノ葉茎ニ忍冬花ツル共ニ
 垣通シ車前子 接骨木ノ若ニトリ茎
 葉ニ右各黒焼ニテ細末メ藥茶汁
 ニテふヤシ疵ノ廻ニ引ヘシ腫氣有ラハ
 田ニシノカラノ黒焼加ル痒カサリ出来ル茶也
 一 鬱金三分 黃蘗一分 右各合テ藥茶ノ
 汁ニテ疵ノ廻ニ引ヘシヨク腫タラハ白粉
 大加テ引也

一唐黍粉キヒ 黃蘗キヒ 接骨木キヒ 若キヒ ミトリ

ヲ陰于キヒ 粉キヒ 一分 右細末メ水ニテ子リ

テキヒ 痲ノ廻リキヒ 又キヒ 蔡菜ノ汁ニテモ吉

一接骨木キヒ 若キヒ ミトリ 陰于キヒ 蔡菜ハコヘ 陰乾キヒ

等分合テ黃蘗ノ粉キヒ 少加テ水ニテ子リ

如前キヒ 引キヒ

一黒神散キヒ 蔡菜ノ汁ニテ子リテ引也キヒ

一ヨク腫テキヒ シタクハ梅酢キヒ ソク飯キヒ 少入テ

子リテ付キヒ 也上ニ杉原キヒ 如常キヒ コシラエテ

付キヒ 又白神散キヒ 少加テ付キヒ 初ハ水キヒ 子リ

子リテ引也腫キヒ ウツク時ハ如右調付キヒ 也

又黒神散ニ天南星ノ粉キヒ 少加テウス

ソクイキヒ ニテ子リ付キヒ 也

一クノ木皮キヒ 四月初比ハキテアラ皮キヒ 去テ

アラキヒ 刻キヒ カ子ノ鍋ニテキヒ 炭キヒ 箱キヒ ニテキヒ コシ

子リカタメテキヒ 椽キヒ ノ粉キヒ 少加テ子リ上テツク

子テ水ニテ子リテ鳥ノ羽キヒ ニテ引也又刻

粉キヒ 椽キヒ ノ粉キヒ 少加テ水ニテ子リテモ引也

此菜キヒ 引ハキヒ 痲キヒ 疥キヒ 少ウキヒ テセス虫不喰也

一牛膝ノ根キヒ 能ク洗スリキヒ 人キヒ 細キヒ 引也

一 痲口フサカリテ腫事有河骨ヲ粉ニ
メ茶一フク程ツ、湯ニテ用也

内茶之事

一 當飯湯 人参 黃耆 白茯苓 白朮

芍歸 桔梗 香白芷 白芍藥

地黃生ト 鬱金 大黃 各一兩 右煎末

シテ奠用也

内加減

一 人参 氣弱人ニハ多 黃耆 病人虛メ汗

ツカキ 氣ノカイナキ人ニハ多用 又云

痲癰ニナリウミ多出テツカレ瘦タレ

時モ多用也 胸ツカエ 氣ツカレタルニハ不

用

一 白茯苓 氣ツテリ小便赤メ或不通人ニハ

多用

一 白朮 胃ノ氣ヲ補人ニハ多用也

一 桔梗 胸ヨリ上ノ痲ニハ多用 癰ニ成テ

ウミノ腫リカヌル時モ多用 氣ノツカエタ

ル人ニハ不用

一 香白芷 初ハ少用 痲癰ニナリテウミ

出カヌル時ハ多用

一川芎頭痛シカエタル人ニ多用

ノ無甲斐ニ少用ツヨキ時ハヒカエ也

一白芍薬血熱有ハ多塞虚人ニ用

一地黄血熱有時ハ生ヲ可用血虚シタ

ル人ニハ熟ヲ可用

一大黄大便秘細シタル時ト血ノ稠入

タル人ニ多用唯コノシヤウナキ時ハ少

用

一鬱金血熱有人ウツク人ニ多用

一沉香心ヲ冷スル故ニ心ノミウクトシタル人ニ

ハ多用

一木香氣ノ胸ニツカエタル人ト虫有時ト

腹痛ニ多用氣虚シタル人ニ少用

一疵ノウツク時ハ手足ニハ羌活ウナシ

頭痛ニハ羌活ヲ加ヨ

一熱氣有テ痛ニハ葛根ヲ加テ鬱金

ヲ益

一熱氣有テ痛ニハ葛根ヲ加テ鬱金ヲ

益

一 目舞心遠ク成時ハ人參 茯苓 茯苓ヲ益

ナリ茯苓ノ間ニ氣付茶ヲ可也

一 大便結スル時ハ大黃ヲ益テトウクワヲ加

其ニテモ浮セヌハ芍薬ヲ与ヘシ虚ニタル

人ニハサシ茶指ヘシ

一 小便不通時ハ茯苓ヲ益テ木通ヲ加

熱氣有テ通セハ葛根 黃芩ヲ可也

一 于熱有時ハ前胡 細辛ヲ加熱氣ツヨキ

時ハ黃芩ヲ加ヨ熱氣甚クハ喉カワク時ハ

石膏ヲ可用

一 狂乱スル時ハ茯苓ヲ加熱氣甚シテ狂乱

セハ生地黃ヲ益テ黃芩ヲ加ヨ痲癰成

時ハ白芍薬 生地黃ヲ益テ熱氣ツヨキ

時ハ黃芩ヲ加

一 大便結ハ大黃ヲ加ヘシウミ苗リカ子ハ

香白芷 桔梗ヲ益也餘久敷ウミタリテ

虚ニタル人ニハ黃芪ヲ益シ一及ノ時杜仲

ヲ加也血走時ハ芍薬ヲ益テ紫檀蒲

黃ヲ加ルナリ

一 口籠ノ時ハ茯苓 神遠志ヲ加ルナリ

一骨ヲ折クタキタル疵ニハソクタシ河骨獨

活姜活ヲ加

一同ゴモリノ時ハ大黃鬱金ヲ益テ琥珀ヲ
加シ

一不食ノ時ハ宿砂藿香ヲ加ルハ熱氣強
シテ不食セハ其心ヲ持テ加茶スヘシ

一喉喝ル時ハ茯苓ヲ益 葛根ヲ加ル也熱
氣甚ハ川石膏ヲ可加

腹浮スル時ハ大黃 生地黃 鬱金ヲ去テ
白芍薬 白朮 木香ヲ加ナリ猶モ不

留ハ煎茶ヲ間ニ留茶ヲ可用

一吐逆スル時ハ藿香ヲ加胸ニ熱氣有テ
吐逆セハ黃芩ヲ加ル虫ケニテ吐逆セハ
檳榔子ヲ加ルナリ

一頭痛スル時ハ川芎 香白芷ヲ益テ風邪
ヲカシテ頭痛スルトキハ姜活 芎ヲ加ル

一咳嗽スル時ハ桔梗ヲ益テ風邪ヲカスト
思ハ芎汁ヲ加寒テ咳嗽セハ陳皮ヲ加

ルナリ

一腹痛スル時ハ芍薬 木香ヲ益テ虫ニ

一 痛トセハ大黃ヲ去テ子杷椰子
 ヲ加惡血腹中ニ有テ痛ニハ大黃欒
 金寒テ病ハ大黃ヲ去桂ヲ可加胸サ
 ワキスル時ハ茯苓ヲ益テ菱門冬ヲ加
 一 ウミケ有時ハ沉ヲ益テ黃芩ヲ加シ
 一 大白散 當歸 川芎 芍藥 地黃
 人參 茯苓 香白芷 大黃 半方生 半余之
 蒲黃 生 紫檀 沉 枳殼 沃浮 耳中
 朴 石各等分ニ麻糸メ煎用シ
 同加減

一 熱氣強ハ沉香ヲ益テ黃芩ヲ加シ
 一 胸サワキセハ菱門冬ヲ加ヨ 痲久ニハ
 木香ヲ加
 一 大便結セハ大黃ヲ益ヨ小便シフラハ
 木通ヲ加ヨ 猶モ不通ハ茯苓沃浮ヲ益
 一 吐逆セハ藿香ヲ加ヨ
 一 上熱メ吐逆セハ白梅花ヲ加ヨ 胸イキ
 リ苦ニハ枳殼ヲ益 鐵炮 痲ニハ黃芩
 ヲ多加ヨ
 一 痰熱強故シ

一白朝散 人参^{二兩} 木香^{三錢} 當歸^{一兩} 茯苓^{一兩}

縮砂^{二方} 陳皮^{二方} 沉香^{三錢} 香白芷^{二方}

藿香^{一分但ウシケ} 耳中^{一方} 右末メ用炒之

一 同加減

一 春ハ當歸ヲ益其ハ縮砂ヲ益秋ハ地黄

益冬ハ川芎シニス熱氣ハ柴胡ツテス

熱甚ハ石膏ヲ加ヨ一血走ハ紫檀ツテス

一 腫氣有ハ大黃芍薬ヲニスウミケ有ハ沉

ツテス黃芩加筋ヒキツラハ黃芪ヲ加

右薬血箇ニモ与ルナリ

一 此内茶ヲ用レハ口ニ茶ヲ付子臣青木葉

斗付テ置シ

一本方ハ十二味ニ香白芷藿香沉香加薬

也又丁子黃連薑陸ヲ加タル方モ有

一 調氣湯 當歸 沉香 大黃 芍薬 右末

用 此茶 浮茶ヲ与ヘ度時分ニ用シ

一 生地黄散 生地黄 大シリ草 右ニ色黒燒メ

等方ニ合茶一服程ツ酒ニテ用又湯ニテモ与

ヨ抄損シタル疵ニ与テ吉又タワ汁ノ出カヌル

疵ニ用ヨ

一樽木ノ皮ヲ黒焼ニメ葛粉ニハ汁テサニテ
茶一服程充酒ニテ用是ハ内ヨリ繕フ薬也
必疵ノ口黒ク吹出テ則付トナリ

方 疝ノ方

黄芩一兩ソホク一兩當歸一兩大黃一兩红花一兩

右藥用ヨ

一白朝散 タウサ一兩 大黃一兩 芍薬一兩

藿香二分 地黄一兩 陳皮三分 川芎二兩

縮砂三分 参一兩 香白芷二分 紫檀一兩

沉香 茯苓一兩 木香 三分 其ヤ一分

同加減

一熱氣ハ柴胡 垂ケ六地黄加ヨ積有ハ

義木 リヤウカウシ加 血走ハ紫檀一倍加ヨ

氣惡ハ参多入ヨセキ出ハ肉桂 杏仁ヲ

加ヨ

疝ウツカハ紫且一倍入ヨ大便結セ六地黄

ヲニス 小便石通ハ木通ヲ可加

安金愈散 少痛血乱者

川芎 黄芩 香白芷 白朮 芍薬

茯苓 熟地 桔梗 各等分 木香一分

沉香 耳中少 黄用ウクニ羌活

乳香ヲ加ヨ 反ニ杜仲 防风 羌活

血トヨイ心遠ニハ茯神 遠志 喉カクニ

葛根 茯苓 小便不通ニハ木通 沢泻

大便不通ニハ桃花 大黄 不食ニハ縮砂

藿咳氣ニハ陳皮 桔梗 肉桂 肉豆寇

頭痛ニハ細辛 羌活 熨氣ニハ黄芩

柴胡ヲ加ヨ

白朝散 叡山ニテ子細有茶也

シシツク人參 紫貝 陳皮 木香 黄連

芍 沉地黄 當歸 芍薬 茯苓

丁子 薰陸 右等分ニ耳中少加テ黄用ヨ

同加減

冬ハ紫貝ヲヒカエ夏ハ益熱ニハ石膏ヲ

加ヨ又ハ荆芥ヲ加 筋ヒキツルニハ黄芩

羌活ヲ加吐逆ニハ藿香 半夏ヲ加

血走ニハ紫檀 蒲黄ヲ加ヨ熱ニハ

柴胡 ウミケニハ沉香ヲ加ヨ

四物湯 金瘡并産後ニ吉

熟地黄 芍薬 當歸 川芎等分ニ

同加減

頭痛ニ白芷ヲ加不食ニ縮砂血走

六蒲黃ニ多クシテ加手足シヒルハ

獨活羌活ヲ加ヨ咳氣ニ五味子細辛

陳皮ヲ加痰ニ半夏陳皮ヲ加ヨ目

クラミニフニ人參茯神ヲ加ヨ心遠目ノ血

ニ人參遠志茯神加ヨ脚氣ニ梧榔

子ヲ加ヨ腹痛ニ白木木香ヲ加ヨ咳氣

ニ陳皮生姜ヲ加ヨ

佛手散金瘡奇氣痛ヲ治

黃芪 明鬱 芍藥 芎藭 地黃 沉香 各一兩

耳少 右刻 藥用也

流氣飲 痰愈テ後目迴頭痛ニサク

ト煩ニ厚朴 青皮 紫蘓 陳皮 肉桂

香附子 丁香 莪朮 大腹皮 枳榔子

藿香 木香 草菓 右五錢 白茯苓

木瓜 白朮 六錢 枳 陳皮 木通

麥門冬 香白芷 川芎 三錢 三稜

半夏 三錢 耳中少 右煎末メ藥用也

神沒湯 不食シテ身ノケタチ結ニテアク





七驚クセハ狂ニ成ヘシ腹寒目カタテル

時分可用人参川芎麻ノ葉并一朱

右末メ炭用又粉茶ニテ湯ニテモ可子

黄耆建中湯 痲ノシラ上気カツヨク

ナシ血ノ道ヲタシク心ヲ冷クナス薬ナリ

殊ニ女ノ痲ニ専用黄芩人参當飯

陳皮細辛前胡茯苓白朮桂心

麦門冬各一兩 并二兩

右煎末メ炭用也

小續命湯 手負ニ中風脚氣ノタイテ

時々ウツナキラ云テ狂氣ニ風逆ナト

煩事有ハ是ヲ用已圭苓杏仁之黄

芍药芍々各兩 附子ニ方

烏蛇芍药湯 骨ウツキノ煩ノ時專

是ヲ右ノ小續命湯ノ内ノ黄ヲ去テ烏

蛇ヲ二兩加テ煎之 烏蛇ハ頭ノ痲ニハ

从同ノ痲ニハ胴ヲ用テ吉

導滯散 是ハ竅取ニ与ヨ又物ニテツヨク

ホレテウツキ忍難ハ血ノ胴ノ内ニ滯タルニ

用當飯大黃ヲテ右等分ニ細末酒ニ

手負ノカホ(血ノ上ルニハ)紫檀ヲ粉ニシテ
茶一服ホト湯ニテ与ヘシ又蒲黄ミツクシ明礬
右等分メ唐竹葉ヲコク炭テカウカイ
ノ耳ニニスクイ一胞ニ与吉 胴ヲサテ血ノ
下ルヲ留ル茶 伏龍肝 桐ノ葉 黑燒
ヒラ木ノ皮ニハエタルコケ苔ノ黑燒 各等分ニメ
白粉ヲ右細末メ茶一服ホト宛湯ニテ
用 炭ノ手負ツヨク熱氣ノ大變成ニハ
先沉香ヲ炭テ与ヘシ則熱去モノナリ
手負小便不通ハ主ノカミヲ切テ黑燒ニメ

茶半服ホト湯ニテ用ク手負咳氣セ

ハ内茶ノ間ニ柿ノサ子ヲ炭シ与ヘシ

浮茶之夏

桃花散 大黃二分 桃花二分 枳一分

右末メ煎用又粉茶ニメ湯ニテ用ク

神効散 大黃 當歸 鬱金 黃芩

皂角各一畝 沉二分 巴二分 右麩末シテ

酒ヲ以与ヘシ 痲ノドウ籠ノ時ハ此茶ヲ

与テ下シタラハ吉 小便ニテ能通ル下シ

ノ事也

黒神丸。巴豆一粒。百草ヲ沙カテイツ、ブ
十二粒ニ丸メ衣ニハ光明丹ヲキセテ湯ニ
テ用一タシ早下シ度時ハ此下シ吉巴豆
ノ油ヲトラサルモ茶性ヲツヨクセシタメ
ナリ

十二神丸。蘇香圓一具ニ巴豆一粒ノ油ヲ
トラズニ皮トシキヲ去押合テ十二粒丸
メ一粒齒ニ不當湯ニテ用

午黃散。痲ニ心腺々十九時是ヲ与テ

少下シテ吉。棗白皮一兩。白朮三方。陳皮五分

木香三朱。木通。黃耆各一分。胡椒二朱

右合テ牽牛子一兩ノ内ヨシラエラニ方ニメ

本味ニ朱ト。牽牛子ニ朱トヲ生姜十一キ

水天目ニ一盃入テ七方ニ煮テ右ノ菜ヲ丸メ

殘ノ汁ニテ夜ノハツ時ニ可与指菜

サバノ目或ハニシニクノミ蜜ヲヌリテ穴ハ

指入テ置也。生姜ヲ棗ノセイホトニウ

ツクシクケツリテ胡ノ油ヲヌリテモサス

ナリ

ニキリ下シノ事。巴豆一粒。ニラノミ

耳松 乾姜 大黃 木通 硫黃
右等分ニ合粉ニメ是程ニ〇丸メ先山柝
ヲ炙シテ手負ヲ洗其後胡ノ油ヲ
手ニヌリテ男ハ左女ハ右ニニキラスヘシ
強下ハ冷水ニ手ヲヒヤス一粒ニテ四五
人ハ下ス

洞籠之事

葦毛馬ノ糞ニ同尿ヲ陰乾ニメ幾度モ
如此ニメ粉ニメ青菜ニカキタテク与ルナリ
洞籠又洞ニ血コモリ腹フクルハ心膝々

トシタルニ与テ吉青菜トハニツ葉芥

蕪菜 薊菜以上三種ヲモミ出テ水ニ

テ少ノヘテ用ナリ

正月二月ノ比蕪菜ヲ取テ葦毛馬ノ尿ニ

七日ヒタシテ黒焼ニメ又ウテシタル赤子

糞ヲ于粉ニメ少細ホメ湯ニテ用ナリ

當座石弓ナトニホテ膜ノ内ニ血滯リ洞

スルヲヨク下スル麻ノ葉小麦ノワラハコモ

右黒焼ニメホ分ニ合テ茶一服ホト蕪菜

ノ汁又ハ茶ニテモ可与吉不下ハ味噌湯

ヲ温メ可与

血筋渡之事

土龍ノ黒焼ヲ糊ニテ子リ疵口ニ付テ杉原

ヲ如常蓋ニメヲクナリ

栝樓根 天南星 黃蘗 蠟ノスチ日ニ

ホシテニキ兼ノ黒焼ノ右各等方ニ合胡

ノ油ニテ子リテ付ルナリ

桃仁 鹿ノステ子千サ各黒焼 右各等

分ニ合胡ノ油ニテ子リテ付ルナリ

膿シハリノ事

頭ヨリ濃ノ流ニスルニハ赤子ノ糞ヲ

鳥ノ羽ニテ付也又ユヤナキノヘラニテ

出タル膿ヲ押入右ノ菜ヲ付上ニハ大黃

ノ葉 牛房菜ノ葉何モアフリテモミ和

ケ能蓋ニメ皿ニハ菜ヲ蒸菜ノ汁ニテ子

リテ細ク引ヘシ頭ノカワ成ヘシ

腕ノ筋ノ切タルニモ是ヲ付ル也筋骨成

也冬ハ古腹ニテ其上ヲ包篋ハカチシノ布

ニテ包シ此菜ヲヨシラヘテ持ニハ柳ノ板

ヌルテノハ干テ幾度モ後ニカタマリヲ取

ソトアフリテ粉ニ是ヲ用也膿ハ吹
掛ルハ吹様ニハ口傳有リ出タルハ手
ヲ寄サレ物也又鉄ニテ膿ヲイロフ
ハカラス大ニ凶也
頭ノ疵ノ膿出タルニモ黒猫ノ黒焼ヲ
吹カケテ上ニハ青木葉蓋ニメ置ク黒
焼ヲ夕夕日ニテ于便ク

膿腸出タルヲ治スル事

膿腸ノ出タルヲ入ルニハ小麦ノ粉ヲ粥
ニニテ出タル腸ニヌルハ板竹ノ子ノ皮ヲ兩

方ヲムスヒ青木葉之中ニシキ葉ノ面ヲ

膿腸ノ方ヘ付粉ニメ出タル腸ヲ入コシ

袋ヲ付タル様ニメ置也疵ノ口ニハ白茶

ヲ油ニテ緩々トトキテ鳥ノ羽ニテ可付

入殘タル膿腸ニハ血菜ヲ藜菜ノ汁ニテ

シケク付ヘシ膿腸ノ色黒クシワヨリテ

和ニ成時青ソソ繩ニナイ其ニ巴豆ノ油

ヲ能クヌリテ入殘タル膿ヲタノ根ヲ主ノ

痛又ホトニユイテ置也七日八日冬六十

日餘ニテ切レテツルハアトニハ愈茶ヲ

可付く白茶トハ乳斗ノム子ノフシヲ子
テ粉ニメヌル也腹ワタノ出タルヲ入ルニハ
黒猫ノ腹ヲ明テ腹腸ヲ取テ捨テ酢
ノカスヲ入テホウコクニテ煙出サスニ黒焼
ニメ胡テノ油ニテヌリテ付上ヲハカチシ
布ニテマキ其ヲモテヨリ右ノ黒焼ヲ拍
掛ヘシ内茶モ少宛大麦ノ粥ノ取湯ヲ
是ヲ与也骨ヲツクニモ血留ニモイハ
取湯ニテ付ルナリ

○騏驎竭 蒲黃 鹿角ノ黒焼 右等方

ニ細末メ胡テノ油ニテ子リテ出タルヲタニ
ヌリテ入ル

○赤子ノ糞ヲ粉ニメトコロヲウスクヘキ日ニホ
シ粉ニメ少加キツキ茶ノ酢ニテ子リテ出
タル腹腸ニヌルヘシ則入之上ヲハ腹腸
ノ出タルセイニ隨テカチシノ布ヲコシ袋
ノ様ニコシラエテ腹腸ヲ入テコシ袋ニ付
腰ニ付置ウシロノ方ニムスヒテ置く袋ノ
上ヨリ茶ヲ付ルナリイカニモ手早ニテ
風引ヌヤウニスルナリ

○ 腹腸ノ出タル人ヲハ主ノ氣ヲシツメテヨ
 ク頭ヲサケテアヲノキニ寝ナカラウナ
 ジト足トヘ手ヲ入テヲサナキ子ヲコソ
 コトクカキヲコセハ可入ホトハ入物之出
 タル腸ハラタニハ茶ヲ付テ入強タルヲハキリ茶
 ヲ付レハキレルマワリニハ血茶ヲ廣クウス
 ク可引モシ疵ノ口廣クハカチシノ布ヲ膏
 茶ヲ付テ膏茶ノ兩ノハシヲ引合テヌフニ
 ○ 唐胡ハ七粒皮ヲ去柚ノ實五粒黒焼
 ニメ右能ヲシ合テ疵ノ通りノウレロニ

付也上ヲハ紙ニテハリ置也一段可秘
 ○ 疵ノ通ノウレロヲ麦飯ヲアタカニシテ
 布ニテ包アタムレハ則入也
 ○ 腕足ノ切ヲトシタルヲ継ニハユ柳又ニ
 ハトコノ木或ハ鹿ノ角ヲスル也腕ニモ
 前エタノホ子足ニハウレロ肢ノ骨何モ
 ウツクシクケツリクツカヌホトニシテ骨ノ
 スイヘ入キリメヲ能ヲシ合テ赤子ノ薑
 シ鳥ノ羽ニテ細々指ヘシ又騏驎湯
 蒲黃鹿ノ角ノ黒焼等分ニ合テ胡ハ

油ニテ子リテ付也何ノ付茶モ鱒ノ足
ノ筋ヲ日ニホシテ粉ニメ加タルカ吉ニシテ
入茶ヲ付テ其上ニ湯柳ノ皮スアミテ青
木葉ヲシキテクヘシ三斗ニ充テアケテ
茶ヲ可入若久滯苗有テシムラフハツ
レテ骨白ク見ハ次ニシキイカニ毛取
合テ早クテ可徒イカニツキタリ先一タシ
ハ疵ノ口クサルシクサリ又ハクサリテ板後
ニ愈シ、出来テ付也

一土龍ノ黒焼青シトノ黒焼黒猫ノ黒焼

右等分ニ合ソク飯ニ子ヤシ付一土龍
ヲ多ク入ナリツキタル先ヲ思フ女ニモタ
セヨ氣ト血シヤラシカ為也又手足ヲツ
クニハ人ノハナラカニ付テヨシ煎茶ノ門ニ
此茶ヲ与ヘシ

羚羊角 鹿右黒焼ニメ等分ニ合細末
メ茶一服ホト宛酒ニテ可也

痲癰之茶之事

○三月之末四月ノ始比アメ牛ノ糞ヲ取テ
陰乾ニメ半分ハ生半分ハ焼テ等分ニ合テ

黄藤ノ粉ヲ少加蘇菜汁ニ少糊ヲ入テ
 子リテ付ル也上ニハ青木葉ヲ可付廻ニハ
 シメ茶ヲ可付余ノ茶ニハアラウニヨリ
 赤黄散ヲ付ル也赤小豆黄藤榆白
 皮右各細末メ水ニテ子リ疵ノ廻ニ付
 上ニハ杉原ヲ如常蓋ニスル也又云前ノ
 三色ニ馬醉木^{アセホ}黒焼ヲ入ル方モ有也
 ○フルウヲ留茶ノ事
 ○土龍ノ黒焼^{アツサ}梓ノ黒焼右等分ニ細末メ
 茶一服ホト充湯ニテ用ヨ

及ノ茶之事

○黒神散ト茄子ノ臍ノ黒焼等分ニ合テ
 粉茶ヲ与ヨ湯ニテモ用又能内茶ニテ
 毛用ヨ
 ○能内茶ニ杜仲シタブクト加テ可与又
 乾姜ニテモ肉桂ニテモ加ルコトアリ
 ○灸治ハ臆中ノ穴ヲスル多ハセス兩ノ乳
 ノ間ニ又肩井ノ穴ヲ灸ル也肩ノ上ニ背間
 ニ三指ヲ並
 ○蟪娘ウスカキ色成ヲ黒焼ニメト子

○シ粉ニメ子リ押合テ瓜ノ実ナリニ丸メ疵
 ノ口一粒是ヲサス上ニハ能スウ膏菜ヲ付
 テ置ナリ
 ○妻鹿ノ眼ヲ陰乾ニメウニバイ陰乾蟠娘
 陰乾右等方ニ細末メソク飯ヲ押合テ
 疵ノ口ニ付テ上ニハ青木葉ヲ敷テ其上ニ
 置テ黒焼ニメ米酢ニテ子リテ疵ノ口
 工可入子フリク入タラハウスソクイ、瓜実
 成ニ丸メ可指鉄ノ矢ノ根ナラハ磁石ヲ
 コソケテ付茶ニ加ヘニ

○牛房ノ葉 槍葉 梨子葉 右各陰干ニ
 メ粉ニメ等分ニ合アツキ湯ニテ茶一服
 ホト宛一日ニ三度ウハ可也
 ○蟠娘 芭蕉ノ卷葉 二ツモノ根 右各黒
 焼ニメ等分ニ合テ茶一服程ツ湯ニテ可也
 ○小麦ワラヲ焼テエウロラアフリ腹セテ
 カ足手ヲサスレハクツク物也其後氣付茶
 シよヨ
 眼ニ手負治事
 ○カミシクフシミト云虫ヲ取テ能スリテ

吞乳ニテトキテ目入ル也又茶ノ皮ヲ去
細末メ麝香少入テ能クスリ合テ吞乳
ニテ緩々トトキテ入ルナリ

○手足ノアタリニ手負ウツキヲ湯スル事

○ソクツヲ煮テ洗能ク茶甘ル也疵ノアタリ

ヨリ血ヲトリテ充ナリ

○喉ヨリ血ノ出ルヲ治スル事

○セウカウ其巾右等命ニ細末メ湯ニテ可

キ

○鼻血ノ出ル治スル事

○蒲黄シ一色湯ニテ可用又トウノ煎ヲ黒

焼ニメ鼻ノ内ニ吹入ヨ

○疵ノ跡ノホミタルヲ如本治スル事

○葱^{ヒトモシ}ノ白根ヲ火ニアフリテソクイベラニ

テ能ク子リテレイテシカイノ粉ヲ押合テ

ムラナク付ル也

○疵ノ口内ニツホミ煩之事

○天南星ノ粉ヲ青菜ノ汁ニテ子リテ付シハ

ヤカテツト(ヒラキ出ル)其後唐ノ白菜

ト天南星ノ粉トヲ合蘇菜ノ汁ニテ子リ

付レハウツカスカワカス口ヒラキテ能ク

。早肉ヲ上ル事

。腕ヒサナトシカツカレテ肉ヲ子テ骨ノア

ラハニ見ニハ吞乳ヲシホリテ骨ノ上ニヌリ

其上ヘカラノ白菜ヲ扨掛レハ能ク又鮭ノ

塩引ノ水スイヲ黒焼ニ扨掛ルモ吉也

。疵ニ虫ノワクヲ治ル事

。蕎カラヲアクニタシ人ハタニワカシ疵ノ口ヲ

洗テア子ノ粉ヲ扨掛ヘシ又シエヲモ扨

可掛又何ノ口菜ニ成氏黄蘗ヲ粉ニメ加ヘシ

。疵ノ口ヒエキヲ止菜

。子鯛ノ骨ヲ黒焼ニメ末メ付ル也又天南星

ヲ粉ニメ付ル

。面疵ノ良

。何ノ口菜ニモ白キハクヲケシ合テ付ク黒キ

口菜ニ付レハアト黒キ物

。折レテ青ク腫ヲ治スル菜ノ事

。肉桂ヲ粉ニメ水ニテ子リテ引也黄蘗

ノ粉ヲ加テモ吉也又楊梅皮ヲ粉ニメ

水ニテ子リテモ引也亦鹿ノ角ノ黒焼白

粉ヲ入テマセテ磨菜ノ汁ニテ合能酢
シ土器ニ入テ此菜ヲ能ク煮テイカニモ
アツクニユル大指ニ付テ色ノワロキ所ニヌレ
ハ時ノ間ニ血サリテ色ヨク成ナリ

。疵ノウミツスマス菜ノ事

。熊野墨ヲ粉ニメヲニユリソ根ヲ押合テ帛
ヨリノコトク拍疵ノ口ニ入ル程入テキワヨ
リ拍キリテ其上ニ青木葉ヲ付ルナリ

。疵ニヒ虫ト云事

。疵ノ口愈テモ又當座モラル事有大夏

ノ物ナリ其ハ大白散ニ黄茵ヲ加テ也

。ヲトリ疵ト云事有

。疵ニワカニ色替リウス黒色ニ成カワキ
無汁疵ノハタノカハナレテキウニ中ヒキク
成也三時過ハ不可治五八中ヲヒヨリ
掛シハ則ヨクシ可秘ミ則時ニ死スル物
ナリ

。骨ヲサクタクキタカイタル取ノ菜ノ事

。合歡ノ根ヲ黒焼ニメ鹿ノ角ノ黒焼ヤキ

塩右三種ヲ加米ノ酢ニテ子ヤシヒロクト

付ん也疵ウツキ強有時ハ蘇菜ノ汁ニ
 テ可付又金ハクヲ加テ昔其ハ蒲黃ヲ
 加ル也三四月ノ比ハ若枝ヲ黒焼ニ用也
 同内茶ニハ四物ニ黃芪鬱金獨活
 手足ナラハ羌活ヲ加テ藥用也
 洗茶ニハ蓮ノ葉ソクツ酒ノカスヲ煮テ塩
 シ入テ洗ヒ此茶ヲ馬ノ足コテヲリクニキ
 タルニモ是ヲ用ヨ
 硫黃 蒲黃 竜骨 石炭ニシノカラノ黒焼
 右等方ニ細末火ニテ煮テトキテ可付

又赤小豆ノ粉ヲ蘇菜ノ汁ニテ子リテ付ん
 瘡ニ成テタル時ハ山蜂ノスノ黒焼耳
 カキニスタイ 大黃ヲスリテサラニ半
 分右ニ色ヲ能ハスリ合テ先煮シ物ニ
 テ洗ヤカテ此茶ヲ付テ又ヤカテ洗シト
 スナリ

〇 痲愈テ後草瘡ノヨル事有川チサラ
 黒焼ニメ汁タラハ扨可掛汁タラスハ
 ハコヘノ汁ニテ子リテ付ん也
 〇 愈タル疵ノ口破ル事

○ヒサヲ粉ニ朱ヲツス色ニ成ホト加テ水ニテ
子リテ疵ノ口ニ付其上ニ膏茶ヲ付テ二三日
置テ膏茶ヲ取レハ本ノ疵ニ成也扱新敷
疵ツクワウ様ニツクワウヘシツコ愈サル
疵悪クツクロイテカタワニ成タラツクワウ
置ス時ノ事也

○毒矢ニ當リタル時ノ付茶之事

○アイノ葉ヲモミテ其汁ヲ矢目ニ付ル也

○カケヲ取ル事

○銘ノ物ナトニ元切ラシテウツク時ハ葦毛

馬ノ糞ヲ熏焼ニメ胡ナノ油ニテ付ル

吞セモスル也又白芍薬ヲ粉ニメ付ル
ナリ

○醫者ノ直ニ兼タルヲ治ル事

○沉香ヲ葉テ疵ヲ洗テヨク能ク口茶ヲ
可付又能葉シ物ニテ能ク洗沉香ノ
粉扨掛ルモ吉

○トコツメノ茶之事

○アセシ茶ヲ粉ニメツワシ付テ扨可掛又
餅茶ノ又カシ能イリテ粉ニメ扨掛ヘシ

○洗茶之事

○キヤウノ木青木葉ソクツ蓮葉大コ

ツルハコ一湯柳芭蕉スイ葛唐竹

葉タカラカウ杉ノ木葉藤コフ

チウヤク合歡木棠木于菜

此内五六七ホト取合葉之塩ヲウイ頂

ニ入テ可洗也

○疵ヲ洗心持之事

○糞物アツケレハ及ニ成間人ハタニシテ可

洗頭ノ疵ニハ水ケテヨスレハ目アレク

成ナリ又頭風ト成骨切タルヲ洗

ヘハズイニ水ケ入テ脚氣ト成テ身

タハシカラス骨ノシレタルニハニワトコノ

木ヲ糞シテ洗ヘシ疵ノ廻リニ瘡ノ出

来タル時ハ蕎ノカラヲ加糞シ可洗又

蕎カラアクニタレテモワロクト可洗何

ノ疵ニモ如此スル也洗テ後フクサ物ニ

テ水ケテ能取テ其後茶ヲ付ル也

○浮茶ヲ心持之事

○大酒ヲ吞飽食之刻ニ手ヲ負ハイカ

ニモ急下シテ吉気クツロク物ナリ又
ウヘタル刻ナク先気甘茶ヲ子食
ラスメテ痲ノテイヲ見斗一日モ二
日モ後ニ下スヘシ痲ニヨリ浮茶者子モ
有リ

○痲マシナイノ事

○山鳥ノ引尾ヲ手負ノ居タル座敷ニサ
シテ置也自然敵方ヨリ愈ステモキ
ト思ヒサシキニ鷄ノ羽ヲ置テ有級
置タリトモ山鳥ノ引尾ヲ置ハ不苦

○五八草ヲ手負ノ居タル座敷ノ角々
ニ少宛拍掛ル

○痲ヲマシナフ奇ニ云

○東路マ父ノチマタニノケ卧テタイ卧ス
レトイタカラヌ痲

○痲ヲ古ク見スル事

○カイコノヒウリヲハラ去テ粉ニメ痲ノ
口ニ可掛拍是ハ自然痲テンケンセ
ラル、夏有時ノ事也

○痲ノソコへ茶ヲ通ス夏

。芭蕉ノワカバエヲ陰乾ニメヒ子リカ
クルル麝香ノヘソノ皮ヲ刻粉ニメ拍
掛ルナリ惣テ大夏ノ痲ニハ麝香
ノウツリ香ヲキラフ物ナリ可心得
。ニフサウヲ見ル時ノ茶
。塩ヲ能酒ニテスリ土器ニ入一日焼
取出シ又抄クタキテ酒ニテスリテ
煎ソコトクホト宛水ニテ可与又蒸テ
成トモ可也

。痲ニヒカレテサウ子ツ脚氣煩夏

。痲ニヒガレテ脚氣ヲコリタルニハ葦
毛馬ノ糞ヲ布ニ包テ能ムシテアツ
キニテ脚氣ヲムスヘシ
。サウ子ツ脚氣持タル人手負ヌシハ腫
煩ナリサウノ痲ニハ鳥貝ノカラヲ黒
焼ニメ胡麻油ニテモミテウスクトキテ付
テ其ニツワノ葉ヲアフリテモ之筋ヲ去テ
茶ヲウスク可付アツク付レハキ汁不
出メ悪キ物ナリ

。日本ノ白茶之事

○五月六月目ニテリタル子ヲ黒焼ニメ
用之痲ノスチヲ出シ又夕ヨクスル時
少シ可子胴籠ニモ与テ充告也

○唐ノ白茶之事

○レイテシカイノ東へムキタルヲ取テマク
シ云也取様ハ南へ向テ經念佛シテ
能く吊テ可取也

○痲ヲツクロイアツカウ心持事

○矢痲ツキ痲ニモ初ハ青木葉拍入ヌ
コトとソコツニ拍入レハ當座ニ死スル

ナリ又血ノ走リ有先カミヨリニテ

サクリテ茶ヲモ入其後モヨウニヨリ青

木葉ヲ入ル也

○唐ノ白茶之事

○レイテシカイノ東へムキタルヲ取テヤク
シ云也トリヤウハ南へ向テ經念佛シテ
能く吊テ可取也

○高麗ノ白茶之事

○蠶ノ中ニ白子トテ白色成テ能酒ヲ
カエラカシテ入テ頓テ取出シ粉メノ

日本ノ白茶ヲ合テ使フシ云也

○手ノツキタル時ノ付茶之事

○大ノ尻草ヲクキ葉トモニ能于粉ニメ

飯ノ上ノアワヲ取子リ合テ痲ノ口ニ

可付又強ウツクニアイノ葉ヲモミテ

痲ノ廻リニ可付又アイノ葉ヲ粉ニメ右

付茶ニモ少加テ付ル也馬ニクワレタ

ルニモ此茶ヨキナリ

○馬ニクワレタル時ノ茶之事

○蘇枋ヲ糞タルジ付ル也又粉茶ニメモ

可付

○大ニクワレタル時付茶之事

塩湯ニテ洗唐胡ナノ皮ヲ去テスリ

付ル也

○痲ヲツクロイアツカウ心持ノ麦

○痲ヲ初ハイカニモ和ニ与ル也愈シ、出

来テハチトアラクアタリテ茶ヲ可付

サヤウニスレハ早々也又後ニハ和ニアタ

ルナリ但シ氣弱キ人ナラハ初中後和

ニツクロウヘシ

癩ヲカフムル人スハ不可寝々入タルヲ
 アラクヲコスヘカラスシツカニツコスニ
 キモツツフセハ血ノ道違テ大度出ル
 ナリトキニイル人静ニ物ヲ云テ其手
 負タル様ナトシ同ヒカクハ目サケル物
 ナリ但主ノ氣ニヨリテセイヲハリテ軍
 場ノ事ヲ云様成人ニハ同ヘカラス氣ニ
 違タル人座敷ニ居モ惡物シ立居アラ
 クスヘカラスノ明タテナトモ手負
 有取ニテ心エテシツカニスヘシ大方此心

持ニテトキハ居ヘキモノナリ

鼈亀膏 キンサウ 疥癩筋骨ウツ
コウジキ

キ惣メサウ子ツ 諸ノ腫物ニ是ヲ用

明礬 三兩 酒ニヒタシイリ 生地黃 二兩 右
クロモツカフセ

同コレラエ 白芍薬 二兩 イリフロメ

青木葉 一兩 イリクロメ 木鼈子 一兩 皮ヲ去
テツカウシ 香色ニ

袋角 一兩 イリテ 光明丹 二分
ツカフ 黒焼

松脂少ク夕キ千リヲ去ツカフ食椀

ニ一盃 右七色ヲ細末メ能合テ如常ノ

胡ナノ油ニテ松ヤニヲ子リテ物ノ
菜ヲ入テ能ホトライニ子リテ水
入サテシテホトライヲ見テカタクハ又
油ヲ入ヘシ

。禁好物之事

好物 大麦 粟 赤小豆 芥子少
葛麩ノ焼 干菜 牛房少 蜀漆
藜菜 葱 蓼 竹ノ子 車前子
薺 芭 大角豆 大根 昆布
少 煮テ 若和布少 苕苕 獨活 藜

香物

大根 牛房

古羊ノ莖 梅テ少

干瓢 蜜柑女 草薺 野老日

覆盆子 栢栲 糝 薯蕷少

砂糖少 熱海鼠 丸鮑 鄭

エソ 海鼠腸 干鯛 海月

鯉節 鯉 コチ キスコ ハスノ魚

鱧 ナリス カマホコメ 鱧 蛤 蛎 鴈 但

廿日三十日過テ麻女後ニ

。禁物 穀大豆 納豆 油上テ

餅飯 穀物 酢 白粥 アメ

芥 蕨 夕顔 韭 蕎 蒜
 茄 ナツナ 蓼 山葵^{ワサビ} 生薑
 山椒 冬瓜 菌^{キノコ} 芋瓜 栗
 梨 梅 桃 杏 枇杷 榛^{ハシ}
 林檎 大魚 鯖 鰯 鮭 鱈^{サケ} 鮫
 鰕 螺 菜螺 黑網 蛸 鱧
 蝦 鱧 鱈 蝸 蚌 海老 鰻
 烏賊 干 蛸 鮫 鮫 猪 鹿
 猿 白鳥 鷺 水鳥 小鳥 狸
 姪人 月水 十 蟠房^{カス}人 豚香

クサキ人

梨子人新

己上

右金瘡五十九ヶ條江州北
 之郡 山本之佳人 淺見道
 齊 秘傳書也

天正六年菊月吉日

此本乃千古林篤志堂酒原氏

享保成成歲仲冬中旬字之圖



